

あなたの思いを かたちに!

4

地域を元気に
まちを豊かに

中小企業・小規模企業の振興を!

「中小企業・小規模企業振興条例」に基づく施策展開が始まりました。三重県版経営向上計画の作成や新たな融資制度も設け、県内5ブロックに推進協議会を設置しました。

●中小企業金融対策事業予算: 7億3561万円



障がい者就労支援の 促進を!

私は、障がい者の働く現場を数々視察し、就労促進を訴えてきました。H25年度、三重県の障がい者実雇用率は、全国最下位ですが、農業分野における障がい者就労人数は429人(対前年166人増)と大幅に増加し、今年度内には障がい者雇用促進のための「ステップアップカフェ(仮称)」が整備される予定です。三重県議会は、今年度「障がい者雇用促進調査特別委員会」を設置し、私も委員として、障がい者雇用促進に精一杯取り組みます。



配線を接続する仕事です!



流れ作業も大丈夫!



野菜の出荷準備中です!



玉ねぎのネット入れ作業。本当に手早い!

男女共同 参画の 推進を!

●三重県女性議員フォーラムの開催

市町女性議員さんとともに、毎年フォーラムを開催しています。東日本大震災以降は、防災への女性参画をテーマに取り上げ、女性の防災人材の育成・活用等に取り組みました。

●めざします! 「202030」 (にいまるにいまるさんまる)

2020年までに、指導的地位に女性が占める割合を30%にしようという国の目標です。

三重県の審議会等委員への女性登用率は、32.3%(H25年4月1日)ですが、政治や企業等多くの分野で、未だ女性登用は進んでいません。



働きたい女性たちを応援します!



県政・県議会に対してのご質問やご意見をお待ちしています。

杉本ゆや事務所 (各地域で行われる行事などにもどんどん声をかけてください)

〒514-0003 津市桜橋2丁目142 TEL 059-226-6252 FAX 059-227-7139

■「杉本ゆや」で検索するとホームページをご覧頂けます。



YOU(あなた)とYUYA(ゆや)をつなぐYY(わいわい)通信



発行責任者／三重県議会議員 杉本熊野

県議会議員二期目がスタートし、はや4年目を迎えています。

皆様のあたたかいご支援ご指導のもと、毎日、元気に各地域をめぐりそれぞれの課題に精一杯、取り組むことができました。

今、働く現場では、非正規雇用が年々増え、約2000万人(約38%)となり年収200万円以下のワーキングプア(働く貧困層)は約1100万人です。

特に、女性や若者の非正規雇用率は高く、格差が拡大しています。

また、三重県内の企業60433社のうち、99.8%が中小企業・小規模企業でありその多くは、グローバル化の波に押され、多くの課題を抱えています。

経済的にも時間的にも余裕がなく、孤立しがちな大人の暮らしは、子どもにも深く影響を与えています。

子どもが安心して育つ、あたたかな眼差しの社会にしたい。

若者が希望を語り、高齢者や障がい者など、誰もが安心して暮らせる社会にしたい。

そんな願いを胸に、「人と人がつながり、思いがつながる地域づくり」をめざして活動してきました。

今あらためて、この4年間の活動を振り返り、今後の県政について、皆様からのご意見等をいただきたい
YY通信を作成しました。どうかよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

地域に
学ぶ!

人と人がつながり
思いがつながる
地域づくり。

一人暮らしの高齢者
助けてくれる人が身近にいない子育て
思うように職につけない若者etc…課題に寄り添い
人と人がつながり、支援の輪を築こうと
支え合いの地域づくりが広がっています！



あなたの思いを かたちに!

1

命を守る
命を育む

防災・減災対策の強化を!

高齢者、障がい者、外国人等、災害時要援護者支援や、防災への女性参画の必要性等を訴え、県政に反映できるよう取り組んできました。

今後30年の、南海トラフ地震の発生確率が70%程度であることをふまえ、地域の課題をしっかり把握し、防災・減災対策の強化に取り組みます。



みんなの声

- 1 災害時要援護者の支援を!
- 2 避難誘導標識や海拔表示の設置を!
- 3 県の施設を避難所に!
- 4 女性防災人材の育成を!
- 5 災害時における外国人住民の支援を!



より安心な地域に!!

- 1 要援護者避難訓練の実施、要援護者に配慮した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」
- 2 津市は、各地域に海拔表示を設置
- 3 津市は、県津庁舎、県労働者福祉会館、高等学校等を津波避難ビルに指定
- 4 2014年新設の「みえ防災・減災センター」にて女性防災人材の育成
- 5 「みえ災害時多言語支援センター」の設置



要援護者避難訓練(津市総合防災訓練で)

避難所運営訓練(南ヶ丘・修成・育生・藤水地区合同で)

子ども防災サミット

みえの森林を 豊かなものに!



「災害に強い森林づくり」

「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、「みえ森と緑の県民税」が始まりました。

今後も里山整備など、地域活動も推進され、災害に強い森林となるよう取り組んでいきます。



再生可能 エネルギーの 推進を!



三重県議会は、「新エネルギー等活用調査特別委員会」を設置し、私も委員として、木質バイオマス発電や小水力発電等は地域振興・産業振興につながるとの提言をまとめました。津市は、風力発電、太陽光発電等、自然エネルギー導入に取り組み、新たにバイオマス産業都市に指定されました。



2

暮らしの
安心を
支える



自殺防止対策の充実

H24年三重県内の自殺者は384人(全国27858人)となり、痛ましく深刻な事態です。引き続き「三重のちの電話」や「自死遺族サポートの会」等の支援に取り組みます。



安心できる医療体制に!

医師・看護師確保対策やドクターヘリの設置などが進み、がん対策も始まりました。また、歯科保健の向上をめざして「三重県口腔保健支援センター」が設置されました。県立一志病院は、家庭医療の拠点として位置づけられ、今、多くの研修医が学んでいます。引き続き医療と介護の連携が進むよう取り組みます。

3

子どもが
輝く社会を

学校
現場の声

教育施策の充実を!

●「朝からあおい顔をしている子どもに、どうしたんやと聞いたら、朝ご飯を食べてないと言う。経済的にも、家族との関係でもしんどい子どもが増えてきたな」(中学校長の声) ●「学習面でも生活面でも、一人ひとりきめ細かな対応を必要とする子どもや親が増えてきたよ」(小学校教員の声) ●「通学路の安全対策を!」(保護者の声)



子どもの実態を ふまえた教育政策を!

日本の子どもの6人に1人は貧困家庭に育っています。家庭の経済格差が子どもの教育格差につながらないための教育政策を訴えています。

少人数学級の さらなる拡充を!

H26年5月1日現在

学級規模の状況	30人以下の学級数	31人以上の学級数
三重県の小学校 (総数3831学級)	2950学級(77%)	881学級(23%)
三重県の中学校 (総数1589学級)	575学級(36%)	1014学級(64%)

★特別な支援の必要な子どもが増えており、そのための施策が強く求められています。

外国につながる 子どもの教育の 充実を!

「三重県多文化共生を考える議員の会」
でも、教員配置等の充実を訴えています。

通学路の早期整備を!

三重県は通学路の合同点検を実施しました。
早期の整備を訴えています。



オープンしました!三重県総合博物館

子どもたちの 豊かな学びに つながる 博物館に!



豊かな子ども施策に!

「三重県こども心身発達医療センター(仮称)」を津市大里地区に開設予定です!

児童養護施設の小規模グループ化や、里親支援専門相談員の設置が進んでいます!

津市では、ひとり親家庭の子どもの学習支援事業が始まり、教育効果をあげています!